

2019 年 7 月 24 日

本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019 年 6 月分)

売出債の総発行額は 11 か月連続で償還超

- ブルームバーグのデータによると、6 月の売出債(個人投資家向けの外貨建て債券)総発行額は+617 億円、償還額は+1,185 億円となり、総発行額から償還額を差し引いた純発行額は▲568 億円と 11 か月連続で償還超となった(図表 1)。
- 売出債の年間純発行額を通貨別に見ると、2019 年は米ドル建てが+716 億円の発行超(6 月までのデータを年率換算、以下同じ)となった。一方、ブラジルレアル建ては▲2,130 億円の償還超となったほか、オーストラリアドル建て(▲1,584 億円)、南アフリカランド建て(▲1,577 億円)、ニュージーランドドル建て(▲950 億円)も償還超となった。(図表 2)。
- 投資信託協会の外貨建て投資信託の純資産総額(為替評価調整後)の推移によると、前月の 27 兆 1,432 億円から 6 月は 26 兆 8,041 億円へと減少した。
- 通貨別では、全 25 通貨中 17 通貨で減少が見られており、米ドル建ては前月の 17 兆 5,877 億円から 17 兆 4,741 億円へとわずかに減少した。また、英ポンド建ても前月の 7,797 億円から 7,362 億円へ、オーストラリアドル建てでも前月の 1 兆 8,808 億円から 1 兆 8,021 億円へ減少が見られた。
- 新興国通貨では、インドルピー建ては前月の 1 兆 1,630 億円から 1 兆 883 億円へ減少し、メキシコペソ建てでも前月の 1,523 億円から 1,419 億円へ減少した。また、ブラジルレアル建てでも前月の 4,622 億円から 4,564 億円へ減少が見られた。一方、トルコリラ建ては前月の 1,015 億円から 1,058 億円へ増加したほか、インドネシアルピア建てでも前月の 1,123 億円から 1,149 億円へ増加が見られた。
- 金融先物取引業協会の店頭外国為替証拠金取引および東京金融取引所の取引所為替証拠金取引のデータによると、6 月の個人投資家による為替証拠金取引ネット・ポジションは買い持ち高が前月の 3 兆 836 億円から 2 兆 5,278 億円へ減少した。
- 通貨別では、米ドルの買い持ち高は前月の 1 兆 4,428 億円から 1 兆 2,761 億円へと減少し、英ポンドの買い持ち高も前月の 4,988 億円から 4,225 億円へ、豪ドルの買い持ち高も前月の 7,412 億円から 6,116 億円へそれぞれ減少が見られた。また、ユーロは 1,273 億円の買い持ちから▲39 億円の売り持ちへと転じた。

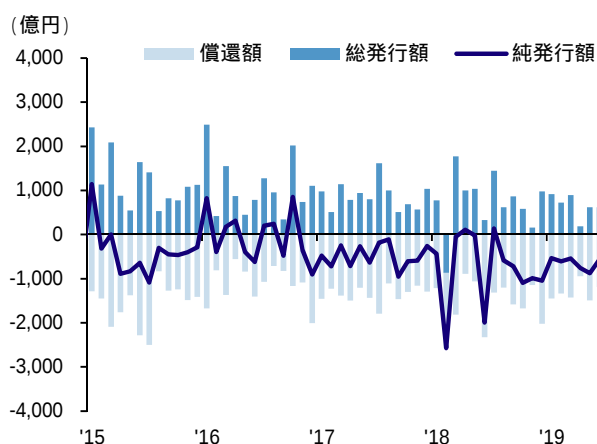
国際為替部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌 大輔
03-3242-7065
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト
多田 健太
03-3242-7065
kenta.tadaide@mizuho-bk.co.jp

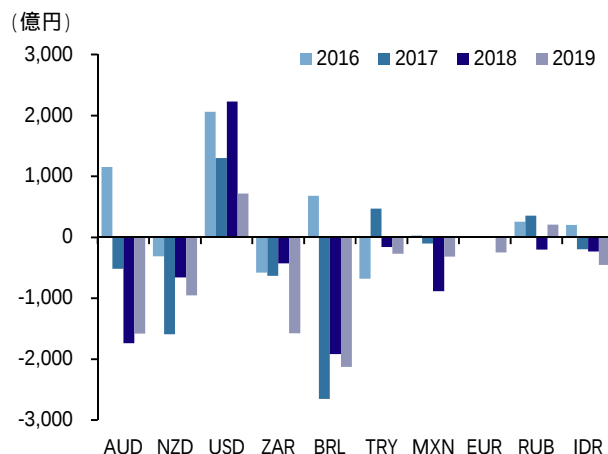
山崎 友紀
03-3242-7065
yuki.a.yamazaki@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 売出債の発行額・償還額(外貨建て)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

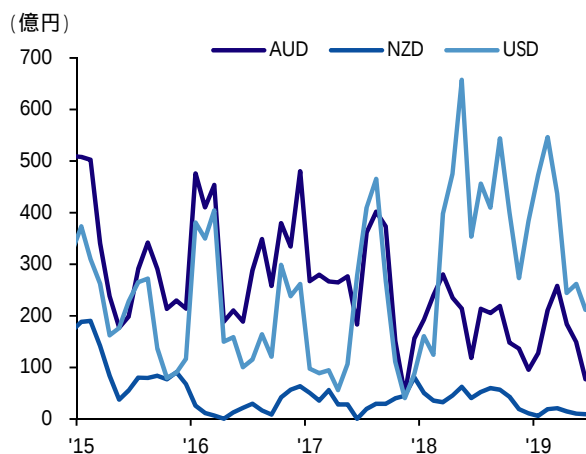
図表 2: 売出債の年間純発行額(通貨別)



注: 2019年4月までのデータを年率換算。

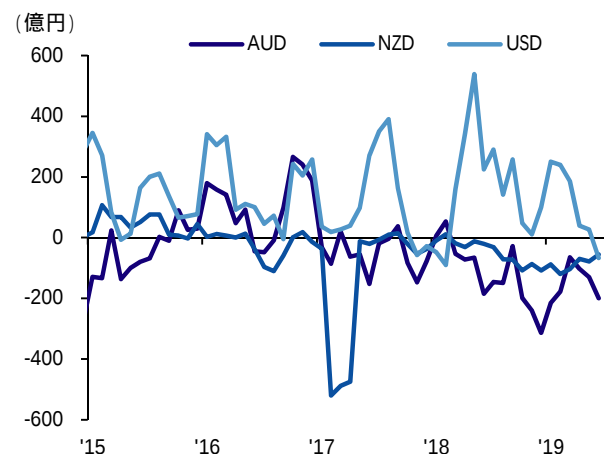
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3: 売出債の総発行額(先進国、3か月移動平均)



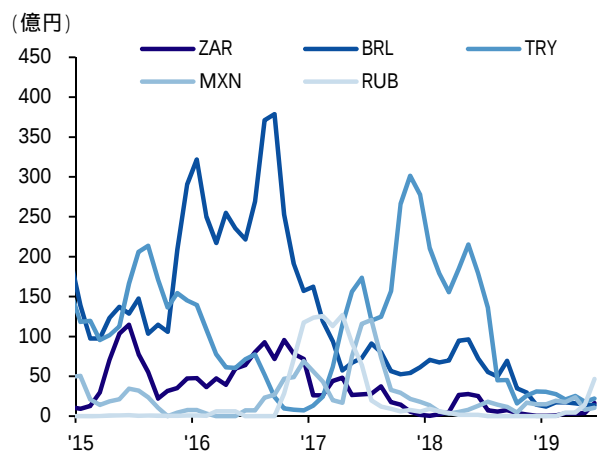
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 売出債の純発行額(先進国、3か月移動平均)



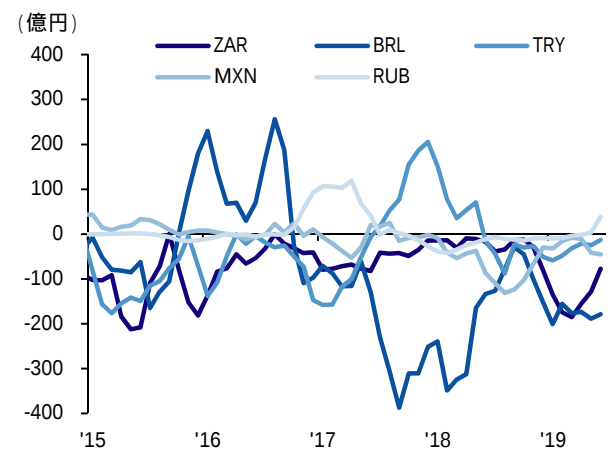
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: 売出債の総発行額(新興国、3か月移動平均)



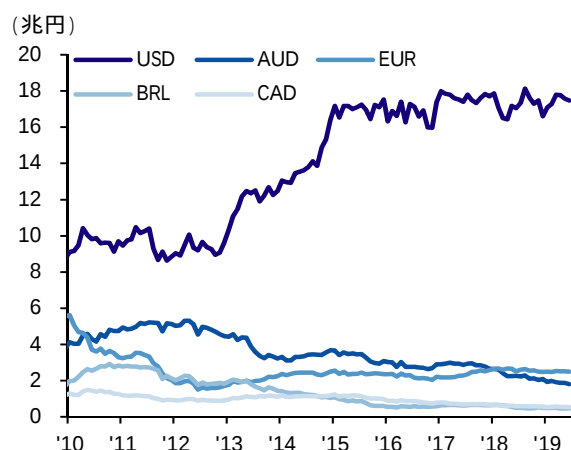
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 売出債の純発行額(新興国、3か月移動平均)



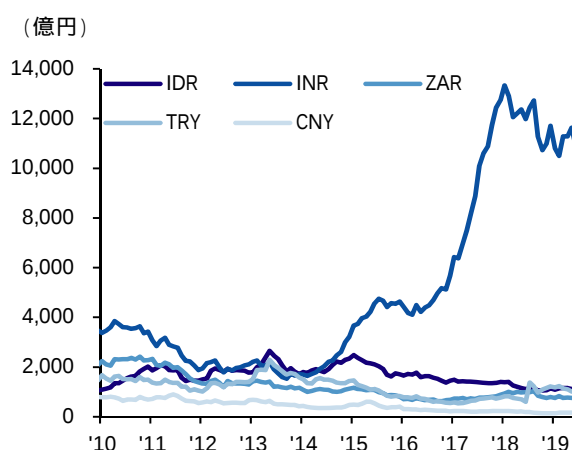
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 7: 投資信託の純資産残高(USD,AUD,EUR,BRL,CAD)



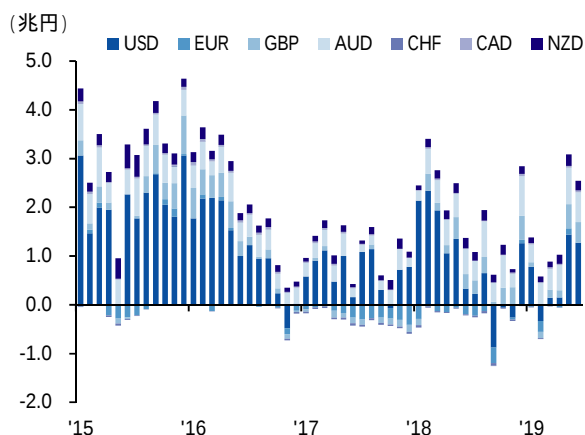
注: データは為替評価調整後。
出所: 投資信託協会、みずほ銀行

図表 8: 投資信託の純資産残高(IDR,INR,ZAR,TRY,CNY)



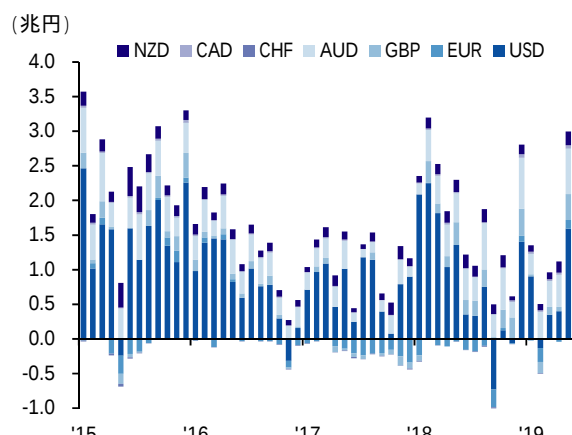
注: データは為替評価調整後。
出所: 投資信託協会、みずほ銀行

図表 9: 為替証拠金取引ポジション(FFAJ、TFX 合算)



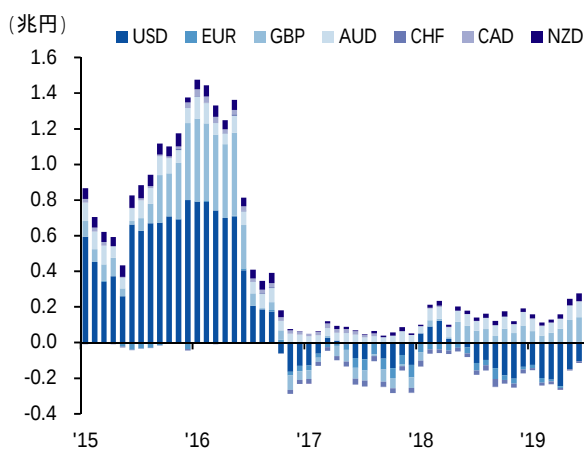
出所: 金融先物取引業協会、東京金融取引所、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 10: 店頭外為替証拠金取引ポジション(FFAJ)



出所: 金融先物取引業協会、みずほ銀行

図表 11: 取引所為替証拠金取引ポジション(TFX)



出所: 東京金融取引所、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2019年7月22日	ECB政策理事会プレビュー～「目標見直し」は大事業～
2019年7月19日	週末版(実質実効為替相場の現状と展望～「ドルは過大評価」とのIMF評価を受けて～)
2019年7月18日	本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか？
2019年7月17日	欧米貿易摩擦こそ正当な貿易摩擦という考え方
2019年7月16日	株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀
2019年7月12日	週末版
2019年7月5日	週末版
2019年7月3日	ラガルドECB総裁就任の読み方
2019年7月2日	日銀短観の読み方～「底入れ」は確認できず～
2019年7月1日	大阪G20を終えて～円相場を駆動するのは株価ではなく金利～
2019年6月28日	週末版
2019年6月26日	円安リスクの点検～大統領選前にトランプは動くか～
2019年6月25日	対外資産・負債残高の近況～令和で経験する大きな変化～
2019年6月24日	利下げ期待とドル/円相場の関係～「98年型利下げ」としても～
2019年6月21日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて～「ドル高の修正」という大きな潮流～)
2019年6月20日	FOMCを終えて～「鏡に映った自分」に怒り続ける大統領～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年5月分)
2019年6月19日	為替市場と金利市場の期待格差について
2019年6月14日	週末版(日銀金融政策決定会合プレビュー～サプライズがあるとすれば・・・)
2019年6月13日	厳しい緩和競争が予想される日欧中銀
2019年6月12日	FRBと金融市場の「接待関係」は持続可能なのか？
2019年6月11日	ユーロ高を警戒し始めたECB～通貨安欲しさに利下げ？～
2019年6月10日	利下げを促す米雇用・賃金情勢～6月利下げも？～
2019年6月7日	週末版(ECB政策理事会を終えて～シントラから2年で振り出しに戻ったECB～)
2019年6月6日	次のカリストとしての中国の外貨準備
2019年6月5日	虚しい「フワードルッキングな政策運営」
2019年6月4日	ECB政策理事会プレビュー～TLTRO3詳細発表へ～
2019年6月3日	「利下げタイミングを当てるゲーム」が始まりそう
2019年5月31日	週末版
2019年5月29日	米為替政策報告書を受けて～ドル高への不満も～
2019年5月28日	円安リスクの点検～円高リスク高まった5月～
2019年5月27日	ECB政策理事会議事要旨～衰える基本シナリオの信認～
2019年5月24日	週末版
2019年5月23日	ブレグジットQ&A～メイ辞任、再国民投票、勝負の6月～
2019年5月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年4月分)
2019年5月21日	ユーロ相場の需給と「ドルしか買えない」状況
2019年5月20日	「ドル=7.00」の攻防再び
2019年5月17日	週末版(円相場の需給環境について～建値通貨別でユーロ建て証券投資が過去最大に～)
2019年5月15日	景気動向指数の「悪化」判断と増税の先行きについて
2019年5月14日	関税引き上げと通貨安～元安対抗にも限界あり～
2019年5月13日	米中協議は実質決裂へ～舞台は大阪G20へ？～
2019年5月10日	週末版(「中央銀行の独立性」とトランプの口先介入～「失言」と割り切って良いのか？～)
2019年5月9日	「相応の理由」なき投機のドル買いはいいつまで続くか
2019年5月7日	追加関税騒動について～半年間の努力はどこへ～
2019年4月26日	週末版
2019年4月24日	薄氷のドル高相場～賭けるべき「次の一手」は～
2019年4月23日	10連休を契機に考える休日増加の功罪
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年3月分)
2019年4月22日	円安リスクの点検～年後半は「米国 vs. 欧中」～
2019年4月19日	週末版(ユーロ圏PMIを受けて～「底打ち」しても正常化は別の話～)
2019年4月18日	ドル高を容認できない中国の経常収支
2019年4月17日	相次ぐECBの「次の一手」に関するヒント
2019年4月16日	「改善の極み」を指摘したIMF～循環的なピーク～
2019年4月15日	ECB政策理事会～階層化とTLTRO3の取り扱い～
2019年4月12日	週末版(やはり直面した「欧州らしい結末」～臨時EU首脳会議を受けて～)
2019年4月10日	IMF世界経済見通し～「副題」で見る世界経済の変遷～
2019年4月9日	円相場の基礎的需給環境～「均衡」がもたらすレンジ～
2019年4月8日	ブレグジット情勢を巡るQ&A～臨時首脳会議を前に～
2019年4月5日	週末版(ドイツがけん引するユーロ圏の減速～大崩れしたドイツ製造業受注～)
2019年4月4日	外貨準備構成通貨の現状(18年12月末)
2019年4月3日	ECBはマイナス金利を階層化するのか？
2019年4月2日	円高を阻む経常収支構造の変化
2019年4月1日	「恵まれた為替環境」を再確認した内閣府調査
2019年3月29日	週末版
2019年3月26日	円安リスクの点検～敢えて考える円安リスク～
2019年3月25日	「自分の尾を追う犬」となったFRBと景気後退の考え方
2019年3月22日	週末版(コミュニケーションが荒れ始めたFRB～本末転倒感の拭えないドットチャート～)
2019年3月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年2月分)
2019年3月18日	「ユーロ圏の日本化」の正しい読み方
2019年3月15日	週末版(ブレグジット交渉、当面の読み方～人質戦略は奏功するのか？～)
2019年3月14日	「地方の南欧化」を想起させる業種別一律最低賃金
2019年3月13日	ブレグジット、「2度目の否決」と「新たな期限」
2019年3月12日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年1月分)
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年12月分)
2019年3月8日	週末版(ECB政策理事会を終えて～ドラギ総裁は1度も利上げできずに退任へ～)
2019年3月5日	米金利上昇&ドル高を阻む「ドル化した世界」
2019年3月4日	大統領のドル高けん制～不安な「相手国が悪い」という理屈～
2019年3月1日	週末版(金融政策格差に落ち着いた年初の2か月間～互いに「住む世界が違う」様相～)
2019年2月27日	米中貿易協議再延期を受けて～現状と展望の整理～
2019年2月25日	円安リスクの点検～想定外の米経済堅調が招く円安～
2019年2月22日	週末版
2019年2月21日	FOMC議事要旨～「patient」の舞台裏～
2019年2月20日	自動車関税を前に考える日欧の立ち位置
2019年2月18日	停滞する日米欧中銀への期待と為替相場
2019年2月15日	週末版(米小売売上高ショックをどう読むか？～懸念される逆資産効果～)
2019年2月14日	看過できない仏伊関係の悪化～大戦以来の大使召還～
2019年2月13日	ドル/円相場は新常态にあるのか？
2019年2月12日	変わりそうにない対外直接投資の潮流
2019年2月8日	週末版(2018年の円相場の基礎的需給環境～対外証券投資への期待は難しそうな2019年～)
2019年2月7日	次期ECB総裁レースの現状整理
2019年2月6日	バイトマン独連銀総裁も認める景気減速の現状